

ZENRIN

証券コード：9474

2018年3月期 第3四半期決算

2018年1月29日

株式会社ゼンリン

Maps to the Future

1. 2018年3月期 第3四半期決算概要
2. 株式分割について
3. 2018年3月期 通期業績予想
4. Appendix

注)本資料には、本資料作成日時時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済の動向・市場需要・競合状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。

尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位四捨五入し小数点第1位まで記載しております。また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「－」表記しております。

1. 2018年3月期 第3四半期決算概要

- 1) 決算概要
- 2) 売上高・利益の推移
- 3) 営業利益増減要因
- 4) セグメント情報
- 5) 中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高

2018年3月期 第3四半期決算のポイント

前年同期比<増収増益>

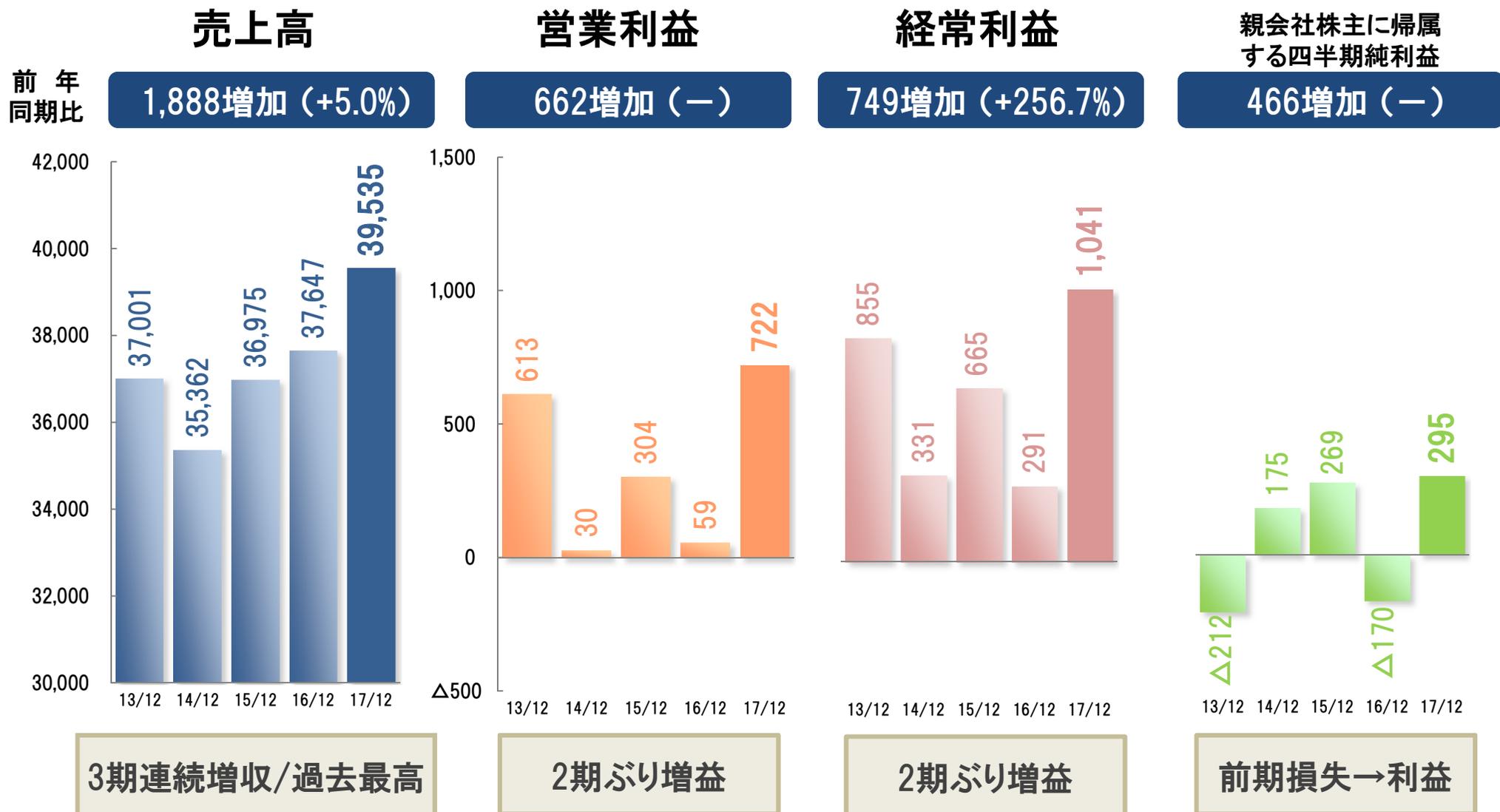
- 国内カーナビゲーション用データの販売が好調、GIS関連の売上も堅調に推移
- 売上高は3期連続増収
営業利益、経常利益は2期ぶり増益。親会社株主に帰属する四半期純利益は前期損失から改善
- 増収に伴う支払手数料などの売上原価の増加に加え、人件費などの一般管理費も増加

(金額単位:百万円)

	2017年3月期 Q3実績	2018年3月期 Q3実績	前年同期比	増減率(%)
売上高	37,647	39,535	1,888	5.0
営業費用	37,587	38,812	1,225	3.3
営業利益	59	722	662	-
営業利益率	0.2%	1.8%	1.6pt	
経常利益	291	1,041	749	256.7
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△170	295	466	-

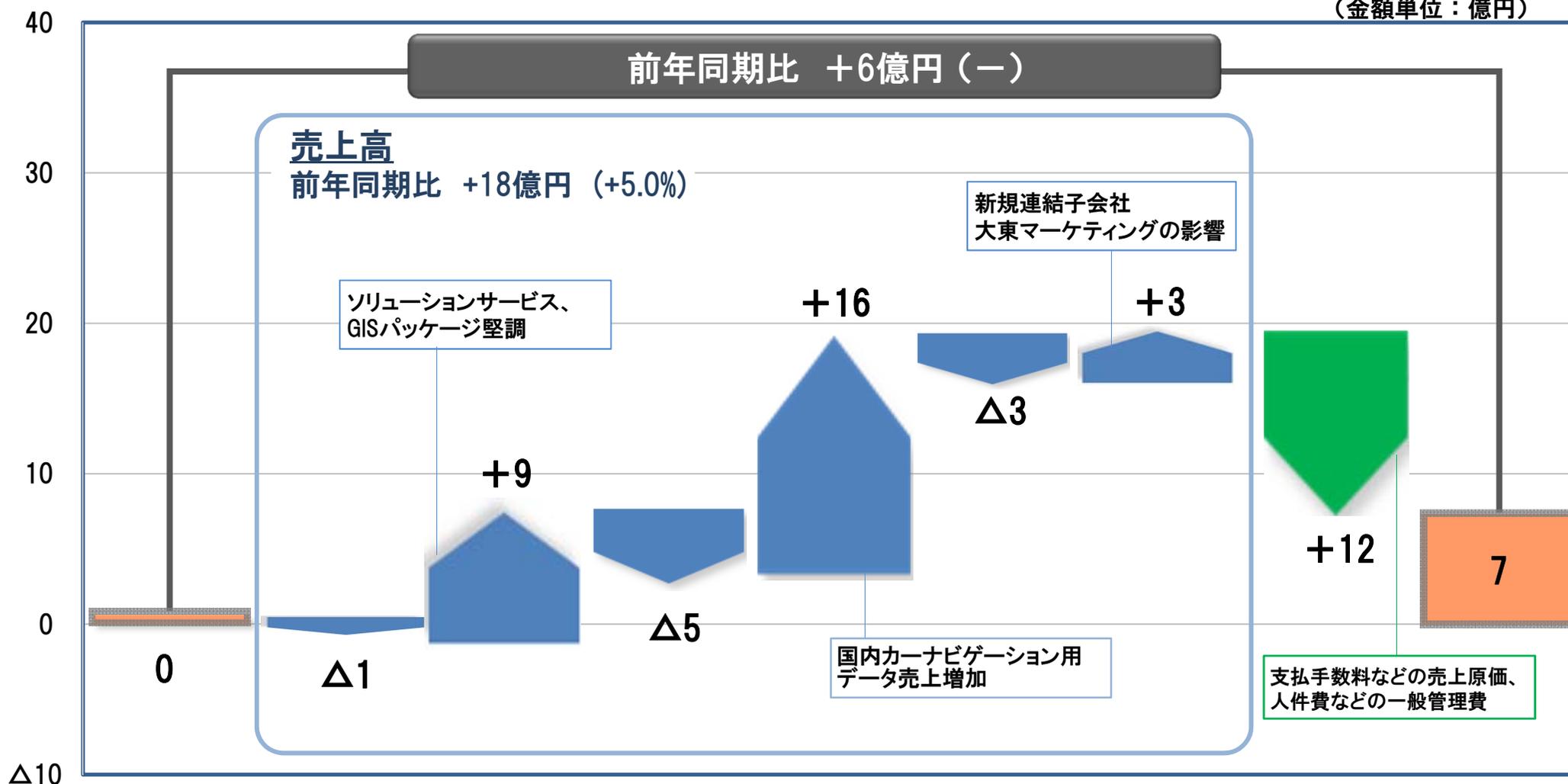
1-2)売上高・利益の推移

(金額単位:百万円)



1-3) 営業利益増減要因(前年同期比)

(金額単位：億円)



16/12 実績

出版

GIS

ICT

ITS

海外

その他

営業費用

17/12 実績

売上構成
比率

82.7%

1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳、住宅地図データベース
国内外カーナビ用地図データ
スマートフォン向けサービス
各種メディア・デバイスへの地図情報提供など



6.7%

2. 一般印刷関連事業

主要品目等：商業印刷



10.6%

3. その他

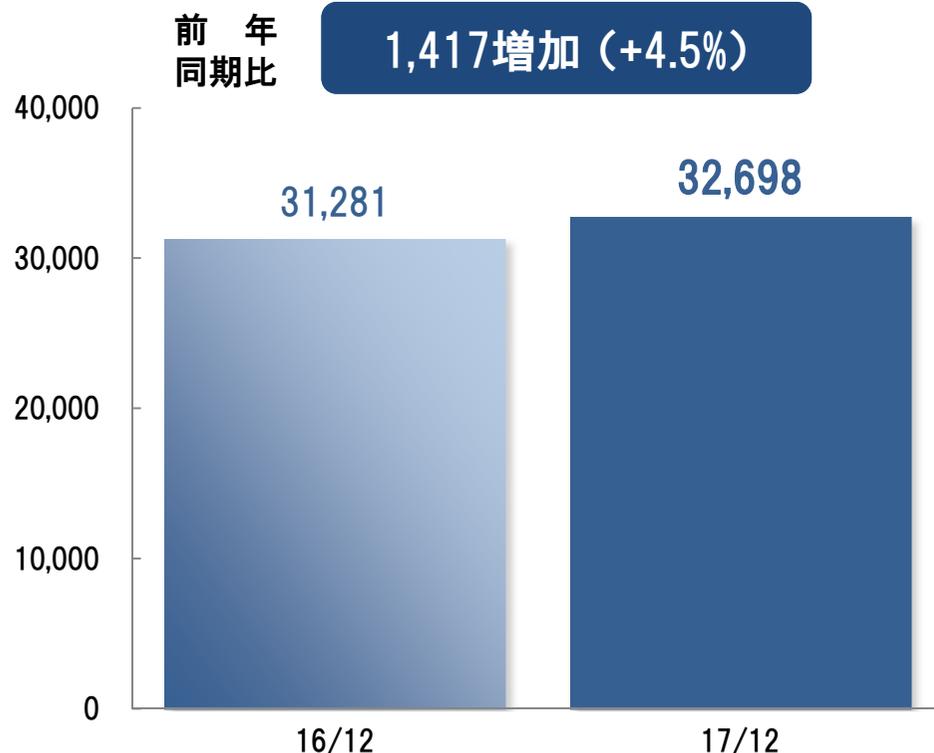
主要品目等：仕入商品、デジタルサイネージ、
マーケティングソリューションの提供



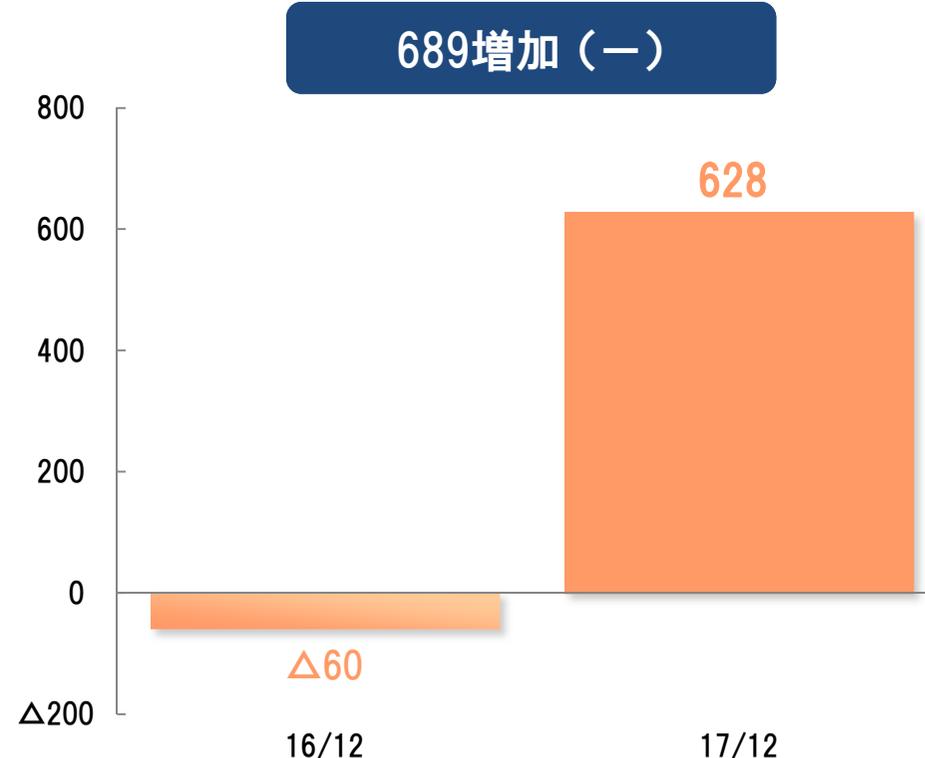
1-4)地図データベース関連事業

(金額単位:百万円)

売上高



営業利益

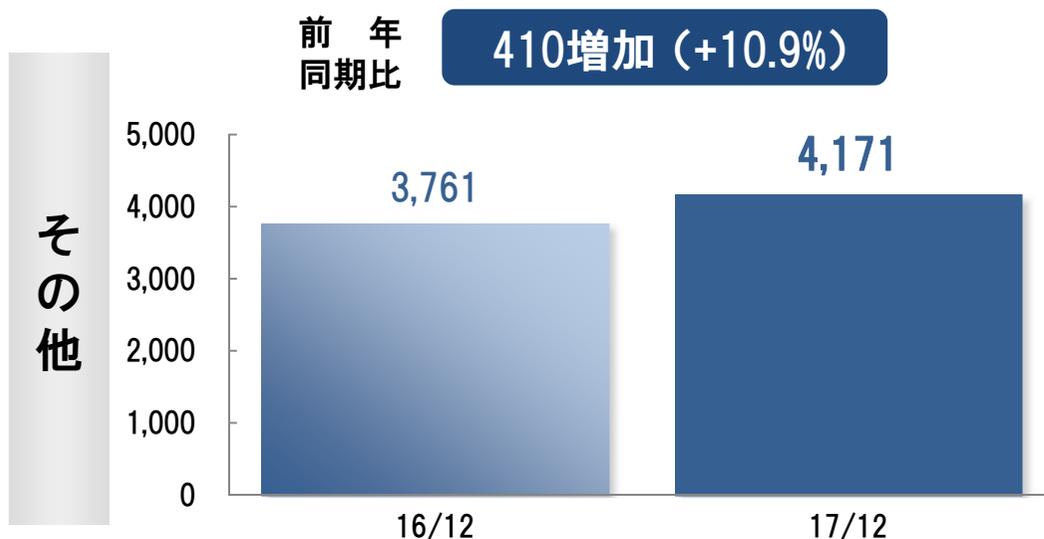
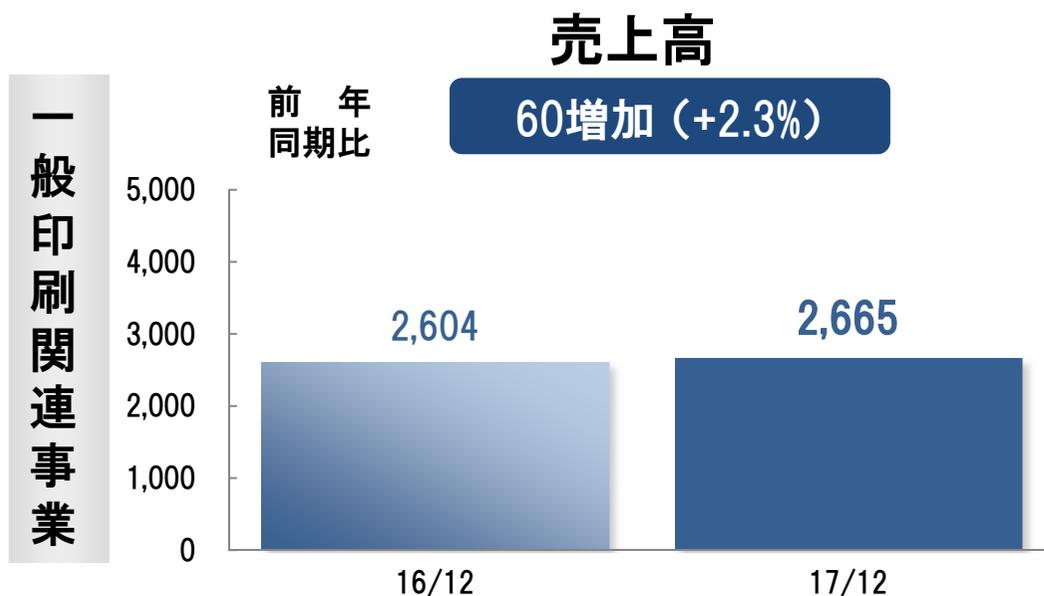


- 国内カーナビゲーション用データの販売が好調、GIS関連の売上も堅調に推移
- 支払手数料などの売上原価、人件費などの一般管理費が増加したものの、増収効果により増益

1-4) 一般印刷関連事業・その他

2018年3月期 第3四半期決算

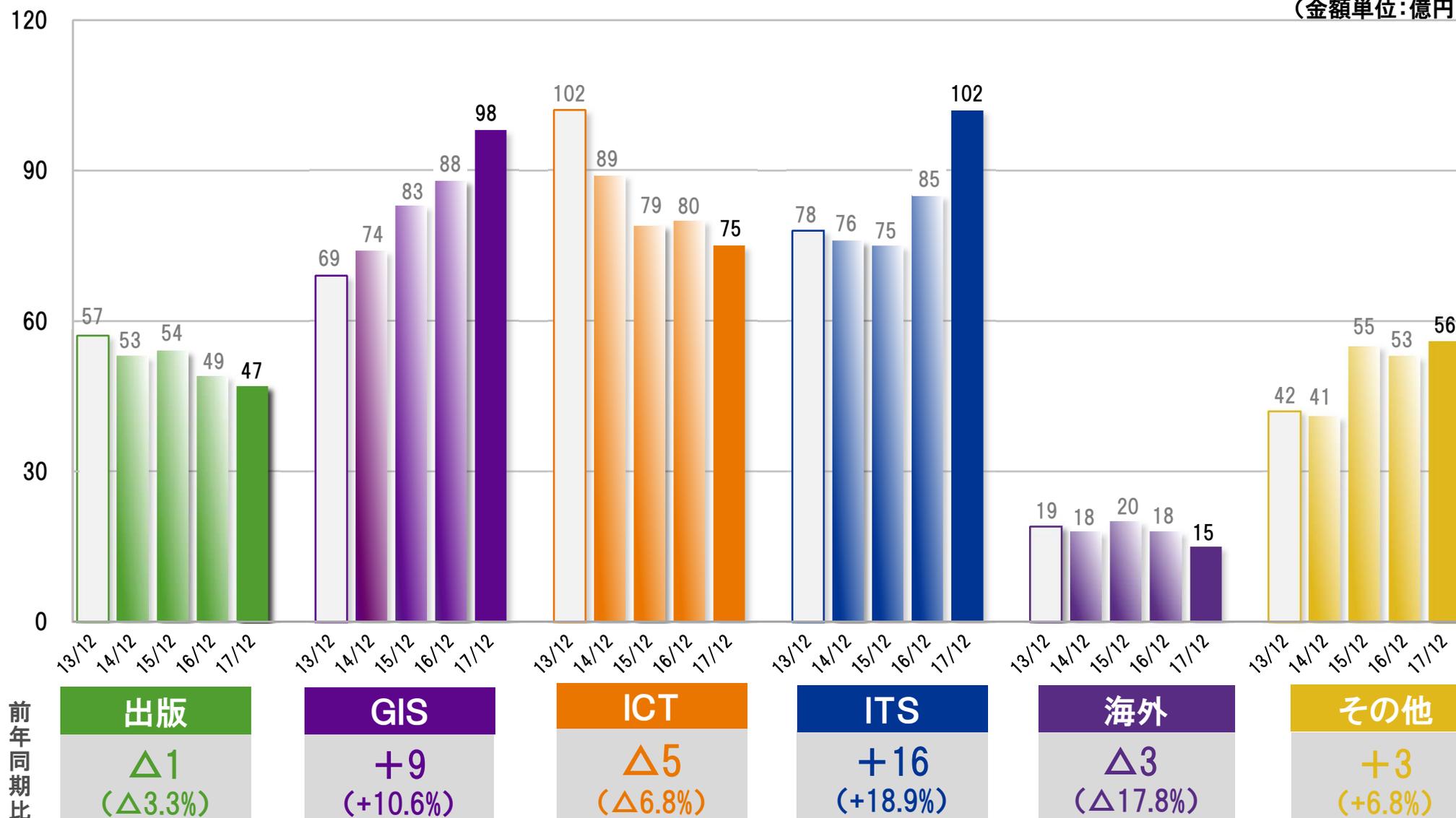
(金額単位:百万円)



1-5)中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高

2018年3月期 第3四半期決算

(金額単位:億円)



※2013年12月期(白抜き棒グラフ)はZGP2015の事業区分で集計した売上高

2. 株式分割について

1) 株式分割について

2-1) 株式分割について

目的と内容

<目的>

- 株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的に、
1月29日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更について決議

<内容>

- 普通株式1株につき1.5株の割合をもって分割
(基準日:2018年3月1日、効力発生日:2018年4月1日)
- 株式分割に伴い、当社定款第6条の発行可能株式総数及び発行可能優先株式総数を1.5倍に変更
(効力発生日:2018年4月1日)

分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	38,200,910株
今回の分割により増加する株式数	19,100,455株
株式分割後の発行済株式総数	57,301,365株

分割に伴う定款変更（発行可能株式総数）

株式の種類	現行定款	変更後定款
普通株式	134,000千株	201,000千株
第1種優先株式	67,000千株	100,500千株

(※現在、第1種優先株式は未発行)

3. 2018年3月期 通期業績予想

- 1) 通期業績予想
(5月8日公表値から変更なし)
- 2) 中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高
- 3) 四半期売上高構成比推移
- 4) 配当金

3-1)通期業績予想

2018年3月期 通期業績予想について

現段階においては、2017年5月8日に公表した通期業績予想から変更なし

前期比<増収増益>

- GIS事業による収益確保
- ADAS・ドローンなど地図データ先行整備と関連企業との提携強化
- 時空間情報システムの安定運用と商品開発

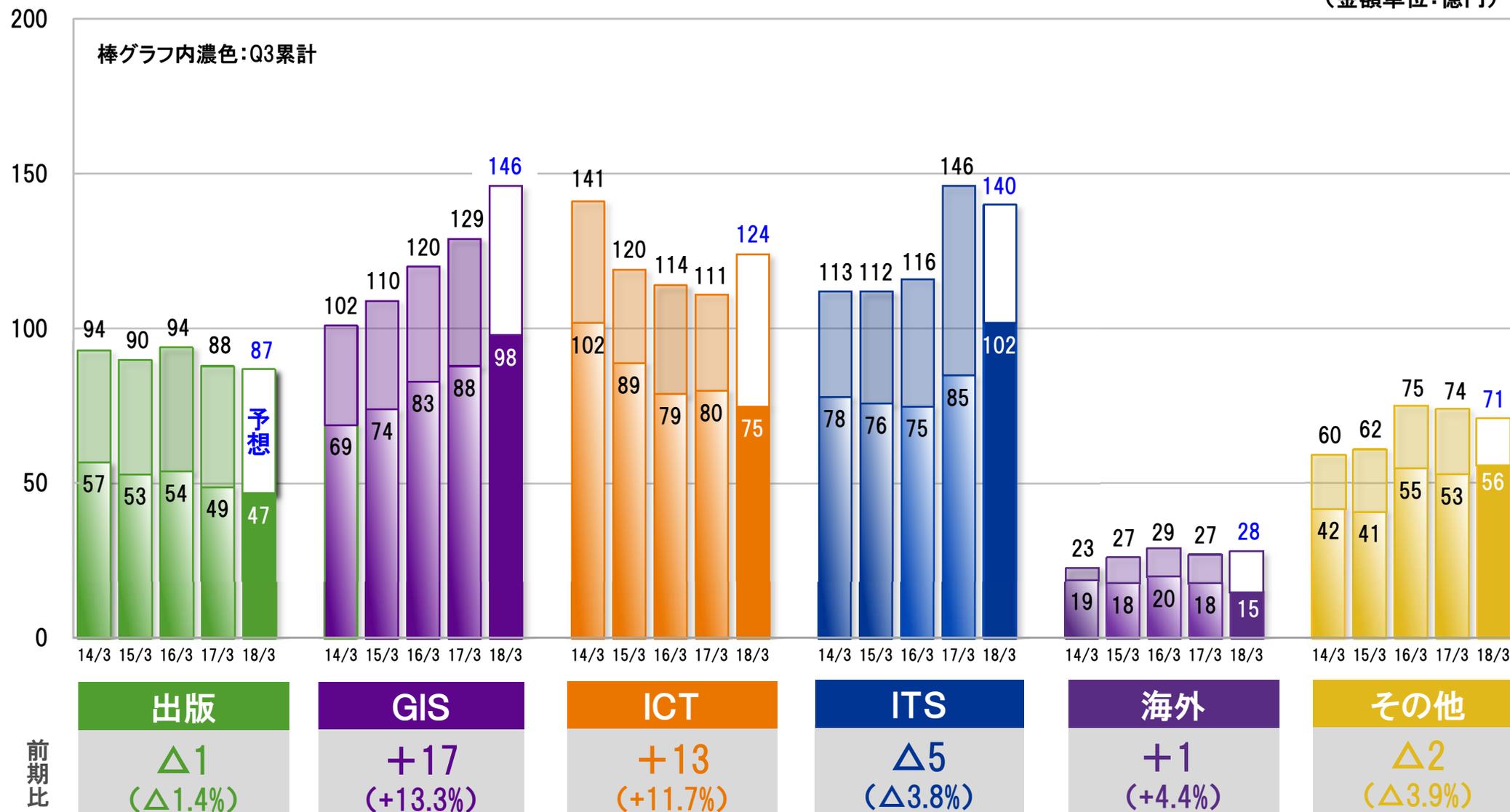
(金額単位:百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	前期比	
			前期比	増減率(%)
売上高	57,819	60,000	2,180	3.8
営業費用	53,584	55,500	1,915	3.6
営業利益	4,234	4,500	265	6.3
営業利益率	7.3%	7.5%	0.2pt	
経常利益	4,527	4,700	172	3.8
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,462	2,700	237	9.7

3-2)中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高

2018年3月期 第3四半期決算

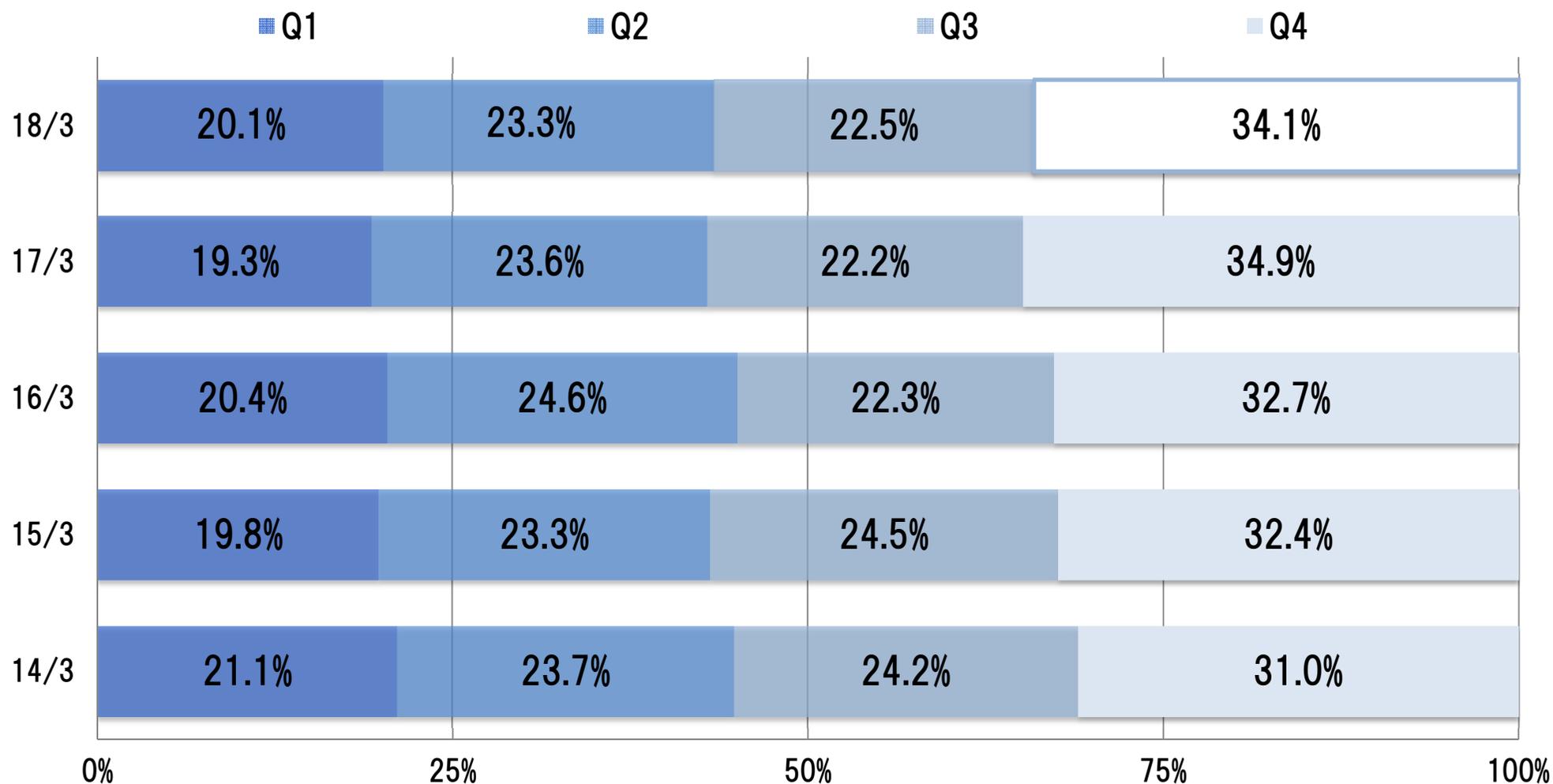
(金額単位:億円)



※2014年3月期はZGP2015の事業区分で集計した売上高

3-3) 四半期売上高構成比推移

2018年3月期 第3四半期決算



3-4)配当金

基本方針

適正な内部留保を考慮しつつ、中長期経営計画における利益成長に基づいた利益還元を実施
連結株主資本配当率(DOE)3%以上を目標

2018年3月期配当金 (前期比)	
中間	17円50銭 (+0円50銭)
期末(予想)	17円50銭 (± 0円)
年間(予想)	35円00銭 (+0円50銭)

(2017年5月8日に公表した予想から変更なし)



4. Appendix

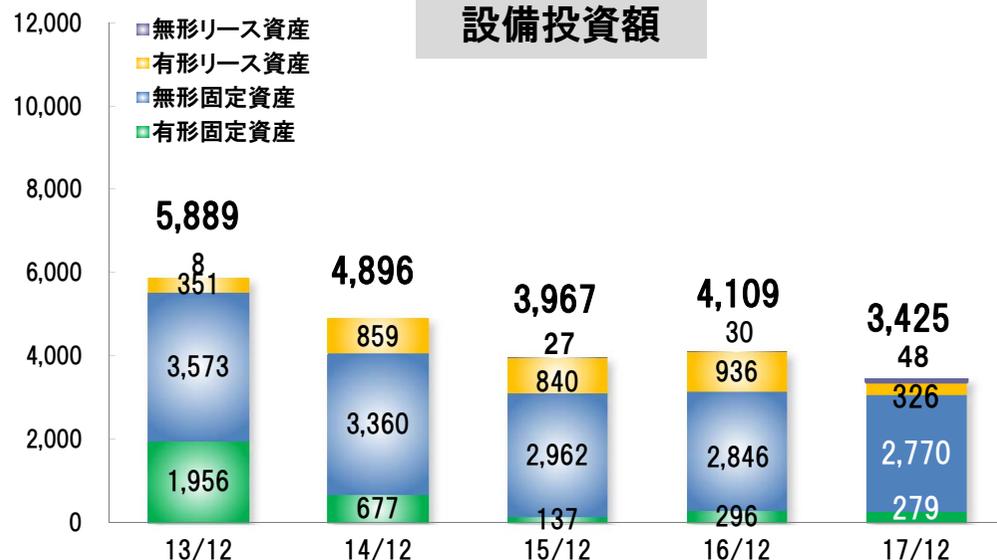
- 1) 2018年3月期 第3四半期決算概要
設備投資額、減価償却費、研究開発費
- 2) 2018年3月期 通期業績予想（2017年3月期決算説明資料より）
売上高・利益の推移
設備投資額、減価償却費、研究開発費
- 3) 中長期経営計画(ZGP2020)
目標数値と進捗
事業別売上高 目標数値と進捗
- 4) 事業トピック

4-1)第3四半期決算概要(設備投資額、減価償却費、研究開発費)

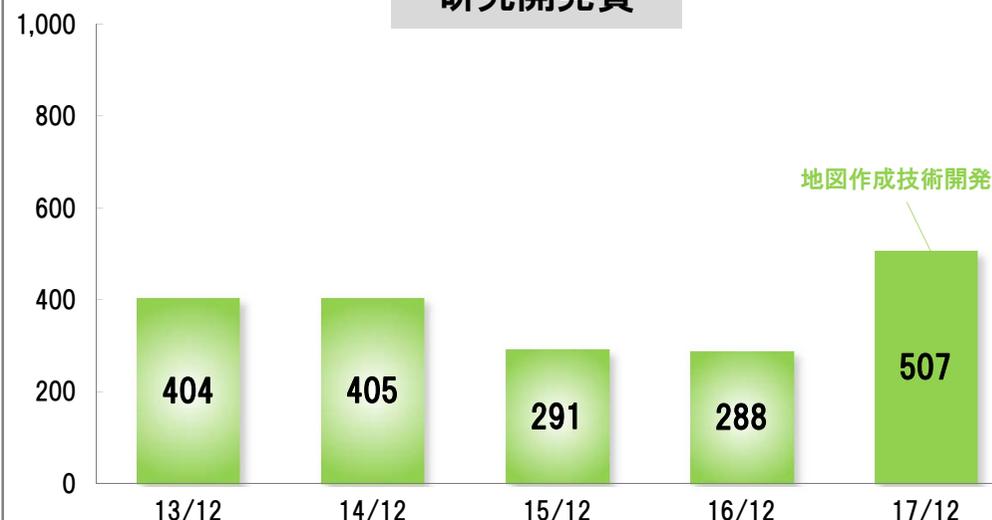
2018年3月期 第3四半期決算

(金額単位:百万円)

設備投資額



研究開発費

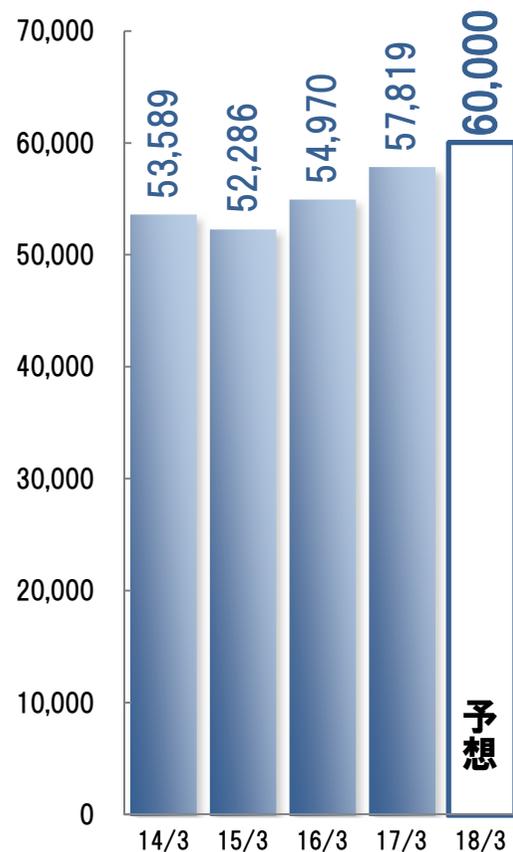


減価償却費



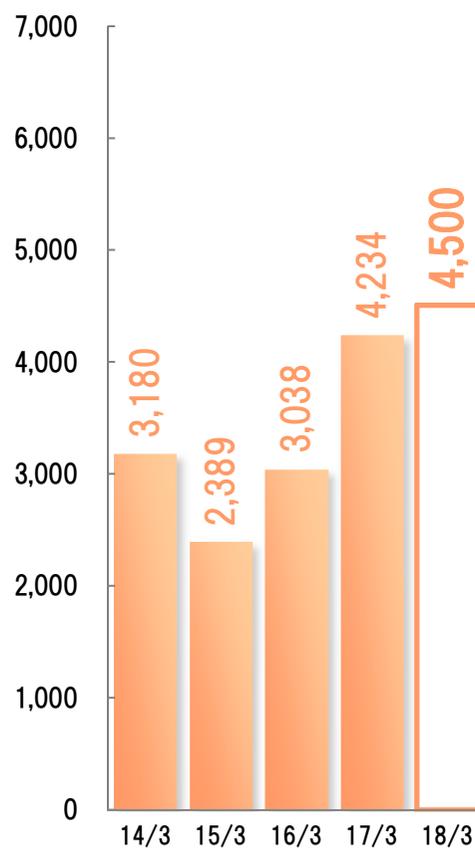
4-2)通期業績予想(売上高・利益の推移)

売上高



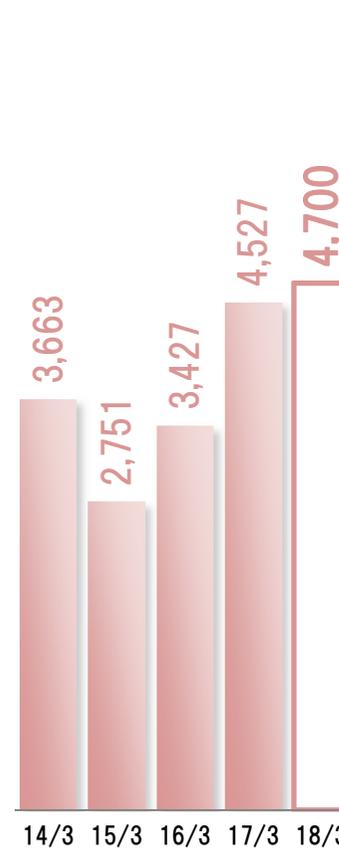
3期連続増収/過去最高

営業利益



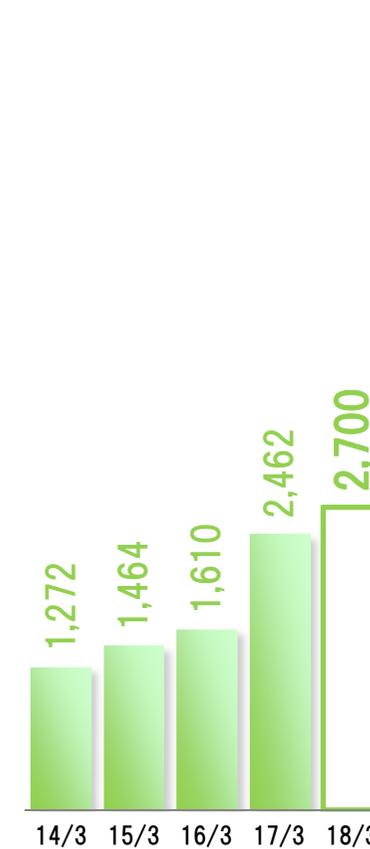
3期連続増益

経常利益



3期連続増益

親会社株主に帰属 する当期純利益



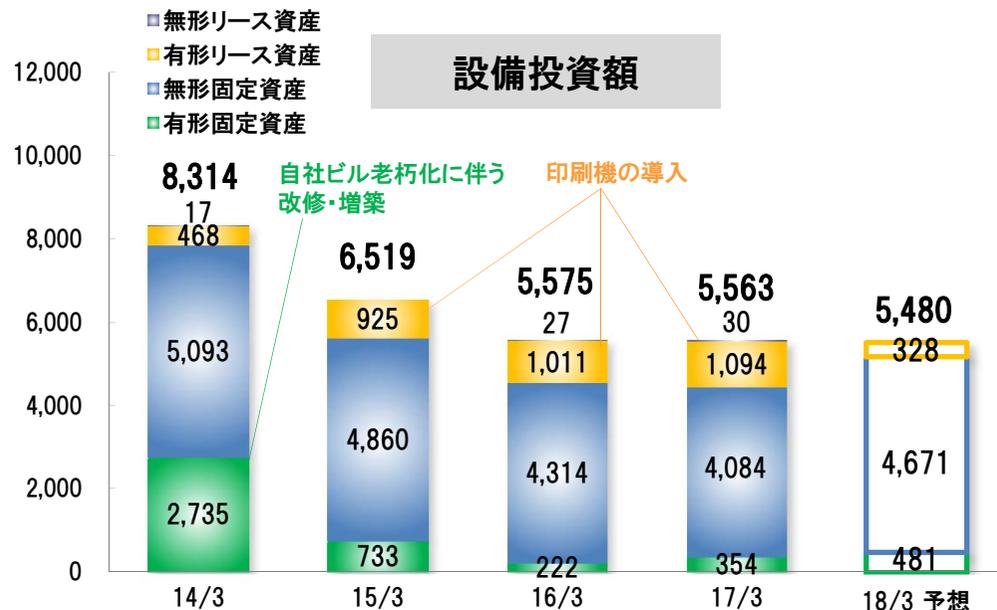
4期連続増益

4-2)通期業績予想(設備投資額、減価償却費、研究開発費)

2018年3月期 第3四半期決算

(金額単位:百万円)

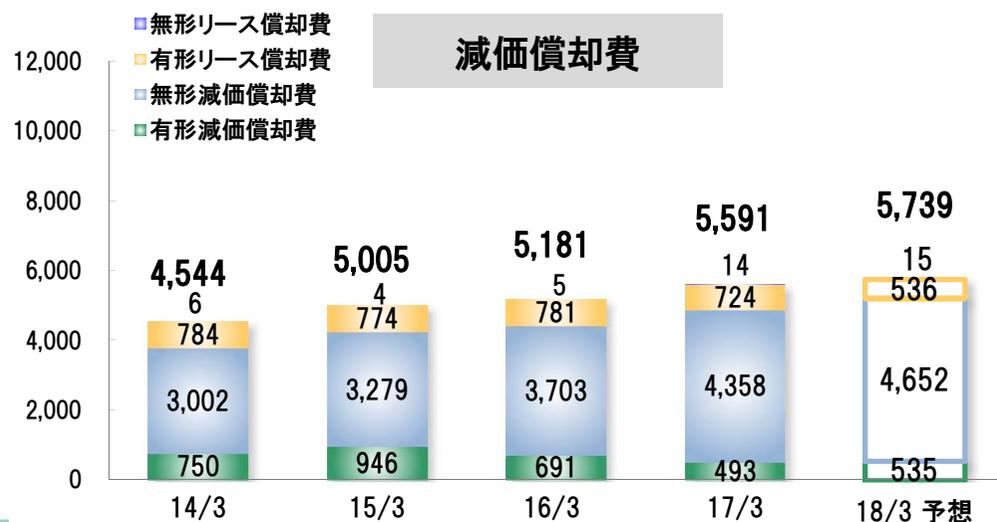
設備投資額



研究開発費



減価償却費



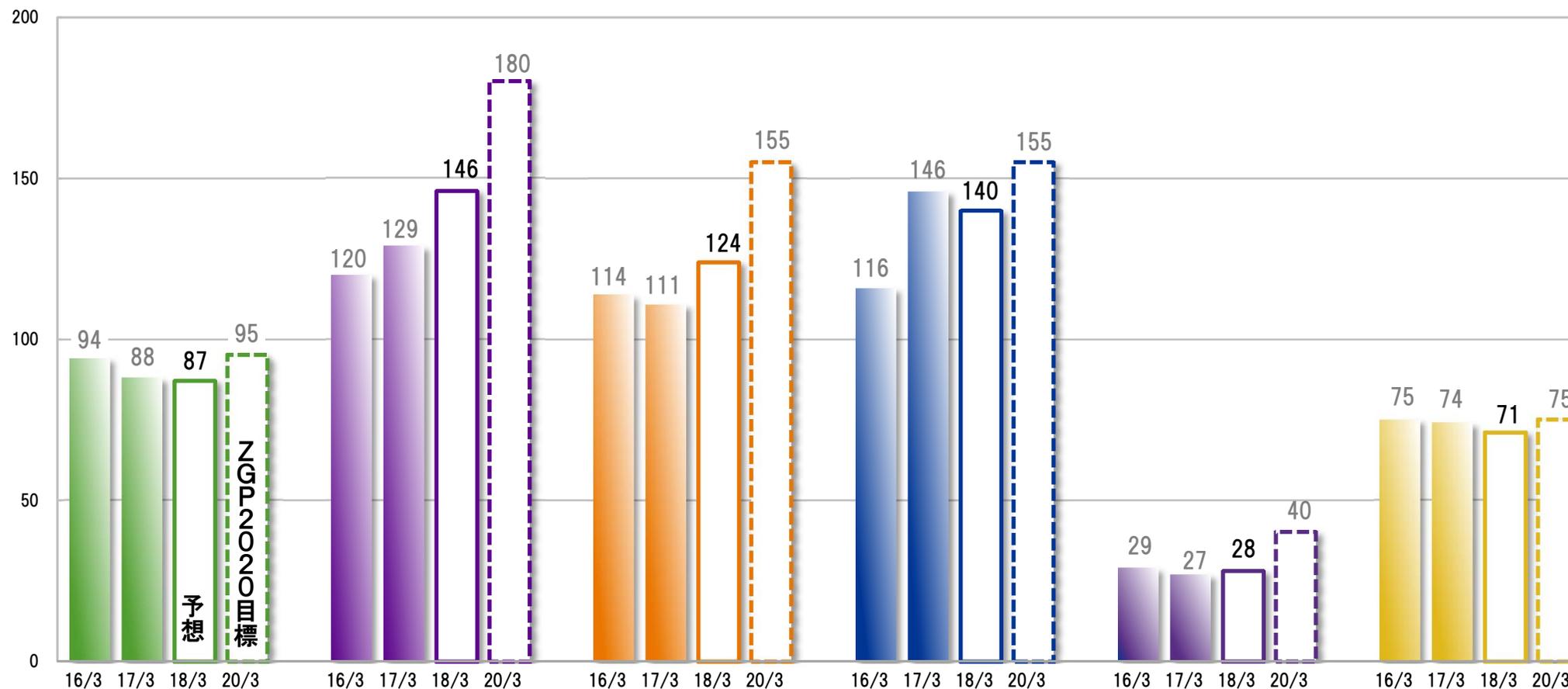
4-3)中長期経営計画(ZGP2020) 目標数値と進捗

	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	2020年3月期 目標
連結売上高	549億円	578億円	600億円	700億円
連結営業利益 (利益率)	30億円 (5.5%)	42億円 (7.3%)	45億円 (7.5%)	100億円 (14.2%)
ROE (自己資本当期純利益率)	4.0%	6.0%	6.3%	12%以上
DOE (連結株主資本配当率)	3.0%	3.1%	3%以上	3%以上

4-3) 中長期経営計画(ZGP2020) 事業別売上高 目標数値と進捗

2018年3月期 第3四半期決算

(金額単位: 億円)



16/3	出版	GIS	ICT	ITS	海外	その他
↓	+0	+59	+40	+38	+10	△0
20/3	(+0.7%)	(+49.7%)	(+35.6%)	(+33.0%)	(+36.7%)	(△0.0%)

4-4) 事業トピック

(2017年11月30日)

■ 法人向けクラウド地図サービス「ゼンリン ビジネスサポートナビ」が「MCPC award 2017」特別賞を受賞！

法人向けクラウド地図サービス「ZENRIN BUSINESS SUPPORT NAVI（以下、ゼンリン ビジネスサポートナビ）」が、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)が主催する「MCPC award 2017」のサービス&ソリューション部門において特別賞を受賞

「MCPC award」は、M2M、IoT、AI、Robot、Bluetooth システムの導入により、「業務効率化」「顧客満足度向上」などの成果を上げている企業や団体を表彰。

「ゼンリン ビジネスサポートナビ」は、ゼンリングループが保有する地図や動態管理技術をベースに、営業活動や保守点検、運送・配達などのフィールド業務を効率化し、生産性向上をサポートする法人向けクラウド地図サービス。今回の受賞にあたっては、ワイヤレス技術を活用し、働き方改革に繋がるサービスを開発した点が高く評価。

<「ゼンリン ビジネスサポートナビ」概要>

オフィス側では、インターネットブラウザを使用し、外回りのスタッフ別の訪問先や業務計画の作成、動態管理技術を使ったスタッフの位置情報の閲覧、フィールド側から送られてくる業務報告の確認機能を提供。

フィールド側では、セットで提供するスマートフォンを使い、訪問リストの確認、訪問先までのナビ、住宅地図の閲覧、業務報告の作成が可能。



GIS

(2017年12月26日)

■KDDI・ゼンリン・富士通、2018年1月より 自動運転向け「ダイナミックマップ」の生成・配信技術の実証実験を開始

<実証実験の概要>

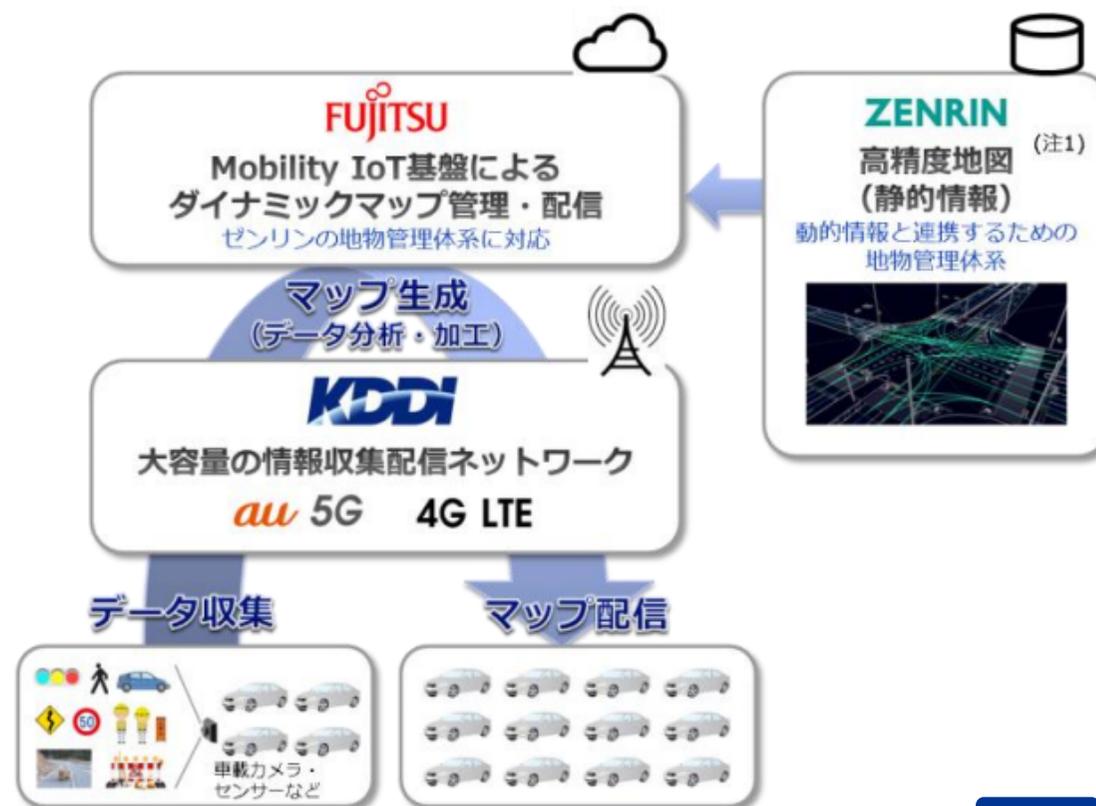
自動運転車の安全な走行を実現するには、自車位置把握のための様々な道路構造物情報の正確な把握と、気象情報や事故・渋滞情報などの動的情報を取得して組み合わせる「ダイナミックマップ」の生成が必要。

この「ダイナミックマップ」には、自車の走行経路を認識しながら遠方の道路状況をリアルタイムにフィードバックするシステムの構築が不可欠。KDDI、ゼンリン、富士通は、「ダイナミックマップ」の生成に必要なデータ収集、データ分析・加工、データ配信技術の実証を行う。

実証実験においては 4G LTE および、今後、次世代移動通信システム「5G」の活用を検討。

ゼンリンは、動的情報との連携や逐次・差分更新を可能とする高精度地図データの提供、および提供プラットフォーム「ZGM Auto」を検証。

<実証実験の概要のイメージ図>



ITS

ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <http://www.zenrin.co.jp>
コーポレート本部 経営管理・IR部
IR問い合わせMail : zenrin-ir@zenrin.co.jp